

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	技術・技能承継の支援	施策No	05-06	部課名	産業経済部経営支援課	
				課長名	吉野	内線 445
関連部課名	産業経済部就労支援課					
行政評価	分野	産業革新都市[]				
事業体系	政策	活力ある地域経済づくり[05]				

目的 区内企業の後継者育成、熟練技術者の高度な技術や卓越した技能の承継などを支援することにより、区内企業を牽引する役割を担うモノづくり企業の継続的な発展を促進する。

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	インターンシップ受入企業数	8	8	8	8	-	
	インターンシップ参加学生数	8	8	9	9	-	

現状と課題（指標分析）

区内企業の経営者の高齢化や後継者難等の理由により、今後廃業する企業の増加が予想され、区内産業の一層の低下が懸念される。

若者のモノづくりに対する関心が低下しており、区のモノづくり産業を支える熟練技術者の高度な技術・技能を受け継ぐ若手技術者が育たず、企業の技術力・成長力・競争力等の低下が懸念される。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

関係機関と連携し、企業の事業承継に関する情報の提供や相談を実施する。

インターンシップ事業は、モノづくりの現場を体感できる機会の学生への提供と同時に、区内企業の人材確保への寄与を目的としているが、近年、学校が独自に実施するなど、事業開始時と状況が変化していることから、区内企業の人材確保に関する一層の支援策を検討する。

高度な技術等を有し後継者育成に尽力されている職人を区内外に紹介することにより、職人のモチベーションの向上を図るとともに、モノづくりに対する区民の関心を高め、後継者の育成を図る。とくに25年度は制度発足20周年の記念PR誌を作成するが、これを今後有効活用し、各方面にPRしていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	区内企業の経営者の高齢化及びその後継者の確保難によって事業の承継が困難となっている。また、特にモノづくりの現場においては、若者のモノづくりに対する関心の低下等により技術・技能の円滑な承継が難しくなっている。このため、後継者育成、技術・技能継承を支援することは、区内企業の継続的な発展を促進するために重要であり、当該施策の優先度は高い。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
荒川マイスター表彰事業	04-02-26	1,013	983	重点的 に推進	推進	本事業は、高度な技術・技能を有する職人のモチベーション向上と、技術・技能の向上、承継を図るもので、「モノづくりの街」荒川のPRや区内産業の活性化のため重要と考える。
インターンシップ事業	04-03-04	239	268	継続	継続	若者がモノづくりの現場を体験できる事業として意義深いことから現状規模で実施していく。
合 計		1,252	1,251			